



HP Jet Fusion 5420W 3D プロセッシング ス テーション

製品マニュアル
基本情報

© Copyright 2023 HP Development Company,

L.P.第 1 版

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

目次

HP Jet Fusion 5420W 3D プロセッシングステーション

基本情報	1
法律に関する注記	1
安全に関する注意事項	1
警告ラベル	6
緊急停止ボタン	10
フロントパネル	10
システムエラー	12
電源の仕様	12

HP Jet Fusion 5420W 3D プロセッシングステーション

基本情報

概要

HP Jet Fusion プロセッシングステーションは、自動で素材の混合とシステムの取り付けを行うデバイスで、ワークフローを合理化し、作業時間を短縮することができます。HP Jet Fusion プロセッシングステーションでは、パーツの取り外し、エンクローチャ内での取り出し、高速冷却(高生産性モデルでのみ可能)を行うことができます。

このドキュメントは、HP Jet Fusion 3D プリンティングソリューションの主な説明書を補うものです。法律に関する注記、安全に関する注意事項、フロントパネルの説明、システムエラー通知、および電源の仕様が含まれます。

詳細については、HP Jet Fusion 3D プリンティングソリューションの説明書を参照してください。

『ユーザーガイド』の場所

プロセッシングステーションのユーザーガイドは次の場所からダウンロードできます。

- <http://www.hp.com/go/jetfusion3D5200/manuals>
- <http://www.hp.com/go/jetfusion3D5420W/manuals>

詳細情報は以下の場所から入手できます。

- <http://www.hp.com/go/jetfusion3D5200/support>
- <http://www.hp.com/go/jetfusion3D5420W/support>

詳細については、HP Jet Fusion 3D プリンティングソリューションの説明書を参照してください。

法律に関する注記

© Copyright 2023 HP Development Company, L.P.

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。

弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

安全に関する注意事項

プロセッシングステーションを使用する前に、以下の安全に関する注意事項と操作に関する指示を読んで、装置を安全に使用してください。

適切な技術研修を受け、作業中に遭遇する可能性がある危険性について学び、自分自身はもとより他の人にも及ぶ危険要因を最小限に抑えるために、適切な対策を講じることをお勧めします。

プロセッシングステーションを正しく安全に操作するために、推奨されるメンテナンスとクリーニング作業を実施してください。

操作は常に監視される必要があります。

プロセッシングステーションは静止させ、権限のある要員のみアクセス制限された場所に配置する必要があります。

一般的な安全に関するガイドライン

次のいずれかの場合、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある分岐ブレーカーを使用してすべての装置の電源を切り、サービス担当者に連絡してください。

- 電源コードが損傷した。
- 上部ヒーターおよびヒューズランプエンクロージャが破損した。ガラス面が取り付けられていないか破損した。または、シールに障害がある。
- 装置がなんらかの衝撃によって破損した。
- 装置に液体が入った。
- 装置から煙が出たり、異様な臭いがする。
- 内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる。
- ヒューズが飛ぶ。
- 装置が正常に動作しない。
- 機械的な破損またはエンクロージャの破損が発生している。

次のいずれかの場合には、分岐ブレーカーを使用して装置の電源を切ってください。

- 雷雨時
- 停電時

警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。

HP 認定および HP ブランドの素材とエージェントのみを使用してください。承認されていないサードパーティ製の素材やエージェントを使用しないでください。

予期しない故障、異常、ESD (静電気放電)、または EMI (電磁妨害) が発生した場合は、緊急停止ボタンを押して装置を接続解除してください。問題が解決しない場合は、サポート担当者へご連絡下さい。

装置が設置された印刷作業を行う場所では、液体をこぼしたり、結露が発生しないようにする必要があります。

プリンタ、ビルドユニット、およびプロセッシングステーションの環境条件を常に一定に維持する必要があります。

装置の電源を入れる前に、内部に結露がないことを確認してください。

最終パーツ/ビルド

3D 印刷で製造するパーツに関連するリスクやパーツから発生するリスクはすべてお客様の責任に委ねられます。

何らかの用途、特に米国、EU、その他の行政機関によって規制された用途 (医学/歯科、食品に接触するもの、自動車、重工業、および消費財を含みますが、これらに限定されません) に対する製品および/または 3D 印刷で製造するパーツの適切性および適用される規制への準拠の評価ならびに判断は、お客様の単独責任に委ねられます。

爆発の危険性



警告! 粉塵により爆発性混合物が形成されることがあります。静電気放電に対する予防策を講じ、発火源を近づけないでください。

注: 装置は、危険な場所や ATEX で分類されたゾーンに配置することを意図していません。通常の場所のみに配置してください。

爆発の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 装置または素材の保管場所の近辺では、喫煙、溶接、ろうそくや裸火の使用を禁止する必要があります。
- 埃の堆積を防ぐために、定期的に耐爆性の掃除機で装置の内側と外側をクリーニングする必要があります。埃を掃いたり、圧縮空気のエアガンで取り除こうとしないでください。
- クリーニングには耐爆性の掃除機が必要になります (可燃物の埃のため)。素材がこぼれないようにするための対策を講じ、ESD (静電気放電)、裸火、火花のような発火源を近づけないようにしてください。付近で喫煙しないでください。

- 装置およびアクセサリは、適切に接地された電源コンセントのみに接続してください。内部結線に手を加えないでください。静電気放電または電気火花が認められた場合は、操作を停止し、装置を接続解除してからサポート担当者に連絡してください。
- エアフィルタとヒーターランプのシールを定期的を確認してください。フィルタやランプのガラスを取り外さないでください。
- HP 認定および HP ブランドの素材とエージェントのみを使用してください。承認されていないサードパーティ製の素材やサードパーティ製のエージェントを使用しないでください。
- HP では、3D パーツの取り外しとビルドチャンバーの充填に HP 純正アクセサリを使用することを推奨します。他の方法を使用する場合は、次の注記をお読みください。
 - － 取り扱い時および/または保管時に発生する粉塵により爆発性の混合気が形成されることがあります。粉塵爆発の特性は、粒子のサイズ、粒子の形状、含水量、汚染物質、その他の要因によって異なります。
 - － 電気分類要件に従って、すべての装置が正しく接地され、取り付けられていることを確認してください。あらゆる乾燥素材と同様に、この素材を注ぎ込んだり、シュートやパイプから自由落下させたり供給した場合は、静電気が蓄積して火花が発生し、素材自体、または素材やコンテナと接触する可燃性の素材が発火する可能性があります。
- 素材の保管、取り扱い、および廃棄は地域の法律に従って行ってください。地域の EHS (Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、安全) の手順に従ってください。詳細については、安全性データシート (SDS) を参照してください。これには、<http://www.hp.com/go/msds> からアクセスできます。
- 装置を危険場所に配置しないでください。操作中に可燃性の粉塵を形成する可能性のある他の装置に近づけないでください。
- サンドブラストのようなポストプロセッシング用補助装置は、可燃性の粉塵に適したものを使用する必要があります。
- 火花や素材の流出が認められた場合は、直ちに操作を停止し、操作を継続する前に HP サービス担当者に連絡してください。
- 可燃物のほこりを扱う場合は、すべての人が伝導性または散逸性の履物や服装、および伝導性の床材を使用して、静電気を帯びないようにする必要があります。

感電の危険



警告！電気制御キャビネット、上部ヒーター、ヒューズランプ、ビルドユニット、およびプロセッシングステーションの内部回路は、死亡または重篤な人身事故を起こすことができる危険な電圧で動作しています。

建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切ってください。装置は、接地された電源コンセントのみに接続する必要があります。

感電の恐れを防止するため、以下の点を守ってください。

- ハードウェアメンテナンス作業を行う場合を除いて、内部回路エンクロージャ、上部ヒーター、ヒューズランプ、ビルドユニット、プロセッシングステーション、または電気制御キャビネットを分解しようとししないでください。これらを分解する場合は、指示に厳密に従って分解してください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。
- 異物を装置のスロットに差し込まないでください。
- 残留電流ブレーカー (RCCB) の機能を毎年テストしてください (以下の手順を参照してください)。



注記：ヒューズが飛ぶ場合は、システム内の電気回路が故障している可能性があります。サービス担当者に連絡してください。自身でヒューズの交換を試みないでください。

残留電流ブレーカー (RCCBs) の機能を確認する

標準的な残留電流ブレーカー (RCCB) の推奨事項に従ってください。RCCB は毎年テストすることをお勧めします。手順は次のとおりです。

1. メインスイッチを使用せずに、フロントパネルから装置の電源を切ります。
2. コンピュータの電源をオフにしたら、テストボタンを押して、RCCB が正しく機能していることをテストします。

- テスト ボタンを押したときに RCCB が落ちなかった場合は、構成部品に不良があることを示しています。安全上の理由から RCCB を交換する必要があります。サービス担当者に連絡して、RCCB の取り外しおよび交換を行ってください。
- RCCB が落ちる場合は、RCCB が正常に動作していることを示しています。RCCB を通常の状態に戻します。

熱による危険

プリンタの上部ヒーター、ヒューズ、およびビルドチャンパーの各サブシステムは高温で稼働しているため、触ると火傷をする可能性があります。怪我を防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 印刷領域に触れる場合は、特に注意してください。プリンタの温度が下がってからカバーを開けてください。
- 警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。
- 稼働中に、装置内部に物を配置しないでください。
- 稼働中に、エンクロージャを覆わないでください。
- 必ず装置を冷却してからメンテナンス操作を実行してください。
- 印刷後にプリンタからビルドユニットを引き出したり、ビルドユニットからパーツを取り外す前に、少なくとも最小冷却時間が経過するまでお待ちください。

発火の危険

プリンタの上部ヒーター、ヒューズ、およびビルドチャンパーの各サブシステムは高温で稼働します。内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる場合は、サービス担当者に連絡してください。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- 電源コードは、サイト準備ガイドの詳細情報に従って分岐ブレーカーによって保護された専用の線に接続してください。
- 異物を装置のスロットに差し込まないでください。
- 装置に液体がこぼれないように注意してください。清掃後、すべてのコンポーネントが乾いていることを確認してから装置の使用を再開してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、装置の内部または周囲で使用しないでください。爆発性ガスが大気中に存在する場合は装置を使用しないでください。
- 装置の開口部を遮断したり、覆わないでください。
- 上部ヒーター、ヒューズ、ビルドチャンパー、電気制御キャビネット、エンクロージャを改造しないでください。
- 装置が本来の目的通りに安全に動作するためには、適切なメンテナンスと HP 純正の消耗品が必要です。HP 純正品以外の消耗品を使用すると火災が発生する恐れがあります。
- 警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。
- 上部カバー、エンクロージャ、または換気口を物で覆わないでください。
- メンテナンス/サービス後に、工具やその他の物質を装置内部に放置しないでください。

消火剤には、二酸化炭素、水スプレー、乾式化学薬品、または泡が適しています。



注意：火災が広がる可能性があるためウォータージェットを使用しないでください。



警告！使用する素材によっては、偶発的な火災が発生した場合に、有害物質が大気中に放出される場合があります。自蔵式プレッシャデマンド型呼吸器と完全防護服を着用してください。EHS の専任担当者は、<http://www.hp.com/go/msds> から取得可能な各素材の安全データシート (SDS) を確認し、各設置場所に適した対策についてアドバイスしてください。

機械的危険

装置には人身事故の原因になる可能性のある可動部分があります。怪我の防止のため、装置の近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体を可動部分に近づけないようにしてください。
- ネックレス、プレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮が装置内に落下しないように留めてください。
- 袖や手袋が可動部分に巻き込まれないように注意してください。

- ファンの近くに立たないでください。怪我の原因になったり印刷品質に影響を及ぼしたりする可能性があります(空気の流れが阻害されるため)。
- カバーがかかっている状態で装置を動作させないでください。

ランプ放射の危険

上部ヒーターとヒューズランプからは赤外線 (IR) が照射されます。エンクロージャでは、ランプおよびランプシステムの光生物学的安全性に関する IEC 62471:2006 の免除事項の要件に従って放射が制限されます。上部カバー エンクロージャ、ガラスやウィンドウを改造しないでください。

化学的な危険性

消耗品(素材およびエージェント)の化学成分については、<http://www.hp.com/go/msds> から取得可能な安全性データシートを参照してください。これらの物質に対する気中浮遊物質への曝露の可能性を適切に管理するために、十分な換気が必要です。それぞれの設置場所での適切な測定に関しては、通常の空調または EHS の専任担当者のアドバイスに従ってください。

通気

快適性レベルを維持するためには、新鮮な空気流で換気を行う必要があります。適切な換気のより規定に則したアプローチについては、最新の ANSI/ASHRAE (American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers) の文書『Ventilation for Acceptable Indoor Air Quality』(換気による許容可能な屋内空気質の確保)を参照してください。

安全性データシートに従って、素材およびエージェントに対する気中浮遊物質への曝露の可能性を適切に管理するために、十分な換気が必要です。

地域の EHS (Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、安全) のガイドラインおよび規定を満たす換気が必要です。

『サイト準備ガイド』の「換気」セクションの換気の推奨事項に従ってください。



注記: 換気装置の排気が装置に直接かからないようにしてください。

空調

すべての装置設置の場合と同様に、設置場所での周囲の快適性レベル、空調を維持する場合には、装置からの排熱を考慮する必要があります。通常、プロセッシングステーションの電力損失は 2.6 KW です。

地域の EHS (Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、安全) のガイドラインおよび規定を満たす空調が必要です。



注記: 空調設備装置の排気が装置プリンタにかからないようにしてください。

音圧レベル

オペレーターの位置では、取り出し時の音圧レベルが 70 dB(A) を超える可能性があります。最大音圧レベルは、80 dB(A) 未満です (ISO 11202 に従った測定値)。地域の法律に従って、聴力保護具の着用が必要になる場合があります。EHS の専任担当者にお問い合わせください。

ビルドユニットの搬送上の危険性

怪我を避けるため、ビルドユニットを移動する場合は特に注意が必要です。

- 必ず、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。
- プリンタやプロセッシングステーションの内部に配置する場合を除いて、ビルドユニットは常に上部の安全カバーをかけた状態にしてください。
- ビルドユニットはハンドルのみを使用してステアリングします。
- ビルドユニットは段差のないスムーズで平らな面を移動させてください。
- 移動には注意を払い、素材がこぼれることがあるため、衝撃を加えないようにしてください。
- ビルドユニットを動かしていないときは、手前のキャスターをロックします。動かす直前にロックを解除することを忘れないでください。

ビルドユニットを他の部屋に移動する場合は、一定の環境条件に維持する必要があることを忘れないようにしてください。

3D パーツの取り出し

3D 印刷で製造したパーツを取り出す際には、耐熱性の手袋を着用してください。

保護用具

特定のメンテナンス作業や素材の取り扱いを行う際は、耐熱手袋、マスク、ゴーグル、伝導性または散逸性の履物や服装、防音装備の着用が推奨されます。

ツールの使用

- **ユーザ**：プリンタの設定、印刷、取り出しと充填、エージェントリザーバーの交換、日々の点検など、日常的な操作を行います。ツールは必要ありません。
- **メンテナンス担当者**：ハードウェア メンテナンス作業および CSR (Customer Self-Replaceable) 部品の交換には、ドライバが必要になる場合があります。



注記：設置時には、指定された担当者が装置の安全な操作およびメンテナンスに関するトレーニングを受けます。このトレーニングを受けることなく装置を使用しないでください。

警告ラベル

ラベル紙



サービス担当者のみ対象

説明

感電による危険

加熱モジュールは危険電圧で動作します。プリンタの保守作業を行う前に、電源コードを接続解除してください。

注意：2極。中性ヒューズ。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。

ヒューズ交換の場合、電圧が印加した装置の部品で保守作業中に危険が生じる場合があります。装置の保守作業を行う前に、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切ってください。

警告！漏洩電流。漏電電流が 3.5mA を超えている可能性があります。電源に接続する前に、必ずアース接続を行ってください。アース接続された装置のみ使用します。

電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。入力電圧が装置の定格電圧の範囲内であることを確認してください。

開始する前に

操作と安全に関する指示をお読みになり、それらの指示に従って装置を開始してください。

火傷の恐れ。装置の温度が下がってから内部のパーツにアクセスしてください。



素材カートリッジ、エージェント、プリントヘッド、プリントヘッドクリーニングロールの取り扱い時、メンテナンスクリーニング作業時、プロセッシングステーション内のパーツの取り出し時には、手袋の着用をお勧めします。

プロセッシングステーション内のパーツを取り出すときには、耐熱性手袋の着用をお

ラベル紙	説明
	<p>勧めします。温度が 80°C (176°F) 以上に到達する場合があります。</p>
	<p>フィルタを交換するときには、安全マスクの着用をお勧めします。</p>
	<p>フィルタを交換するときには、安全ゴーグルの着用をお勧めします。</p>
	<p>素材カートリッジのサポートプラットフォームを踏み越えないでください。</p>
	<p>プロセッシングステーションが倒れる可能性があるため、外部タンクに上らないでください。</p>
	<p>損傷の危険。上部カバーの端に手を近づけないようにしてください。上部カバーの開閉には、必ずハンドル(青でハイライトされたもの)を使用してください。</p>
	<p>警告！ 粉塵により爆発性混合物が形成されることがあります。静電気放電に対する予防策を講じ、発火源を近づけないでください。</p> <p>装置または素材の保管場所の近辺では、喫煙、マッチや裸火の使用を禁止します。</p>
	<p>可燃物の埃のため、クリーニングには耐爆性の掃除機が必要になります。</p> <p>素材がこぼれないようにするための対策を講じ、ESD (静電気放電)、裸火、火花のような発火源を近づけないようにしてください。付近で喫煙しないでください。</p> <p>地域の法律に従って廃棄してください。</p>

ラベル紙

説明



感電の危険。プリンタの保守作業を行う前に、電源コードを取り外してください。加熱モジュールと電気制御キャビネットは危険電圧で動作します。

メンテナンスおよびサービス担当者のみ対象



危険な可動部分です。印刷時にファンブレードに触れないでください。

メンテナンスおよびサービス担当者のみ対象



指が巻き込まれる危険。稼動時にギアに触れないでください。歯車の間に手が巻き込まれる可能性があります。

メンテナンスおよびサービス担当者のみ対象



可動部品に注意。稼動中のプリントキャリアリッジおよびケーブル/ホースキャリアに触れないでください。印刷中は、プリントカートリッジが前後に移動します。

サービス担当者のみ対象



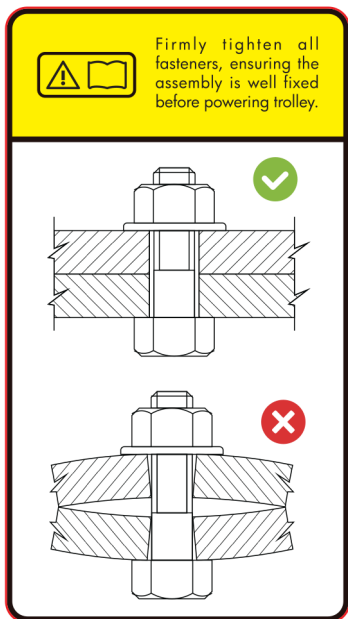
資格を持つ電気技術者を対象にPE (Protective Earth: 保護アース) 端子、メンテナンス/サービス担当者のみを対象に接地端末を示します。電源に接続する前に、必ずアース接続を行ってください。

ラベル紙

説明



パージプロセス中に、ホースを外さないでください。

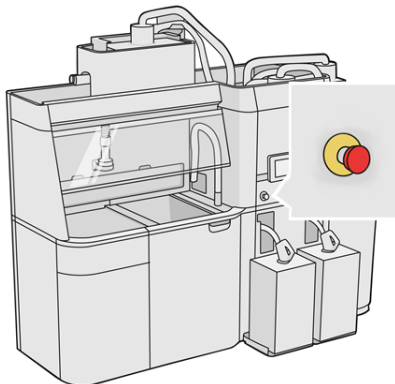


すべての留め具を確実に締め、アセンブリが固定されていることを確認してからビルドユニットの電源を入れます。

緊急停止ボタン

プリンタとプロセッシングステーションには、それぞれ緊急停止ボタンがあります。緊急事態が発生した場合は、緊急停止ボタンを押すと、すべてのプロセスが停止します。

- プロセッシングステーション内：バキュームシステム、モーター、およびビルドユニットが停止します。システムエラーメッセージが表示され、ファンは最高速度で回転します。装置を再起動する前に、緊急停止ボタンが解除されていることを確認してください。

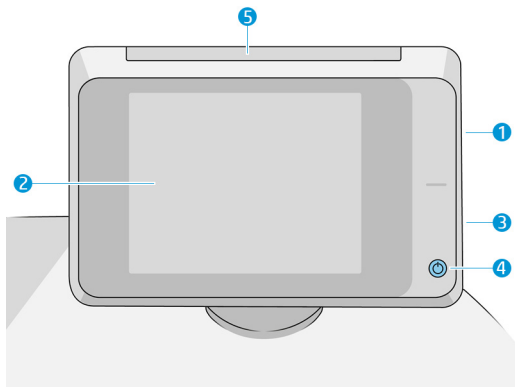


装置を完全に停止するには、電源を切ります。

フロントパネル

フロントパネルは、グラフィカルユーザインタフェースを備えた、タッチセンサー式画面です。プリンタ前面の左側と、プロセッシングステーション前面の右側に1つずつフロントパネルがあります。

フロントパネルからは、プリンタとプロセッシングステーションを完全に制御することができ、デバイスに関する情報の確認、デバイスの設定変更、デバイスステータスのモニター、サプライの交換やキャリブレーションなどのタスクの実行ができます。必要に応じてフロントパネルには、アラート(警告およびエラーメッセージ)が表示されます。







フロントパネルには以下のコンポーネントがあります。

1. 高速 USB ホスト ポート (ファームウェアのアップデート ファイルを装置に送るための USB フラッシュ ドライブの接続用)。
2. フロントパネル自体。グラフィカルユーザインタフェースを備えたタッチセンサー式画面です。
3. ラウドスピーカ。

4. 電源キー（装置の電源がオンの場合に点灯）。装置がスリープモードのときは、点滅します。
5. ビーコン。

フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。左側および右側にある4つの固定アイコンをそれぞれ別々に表示できます。通常は、同時にすべては表示されません。

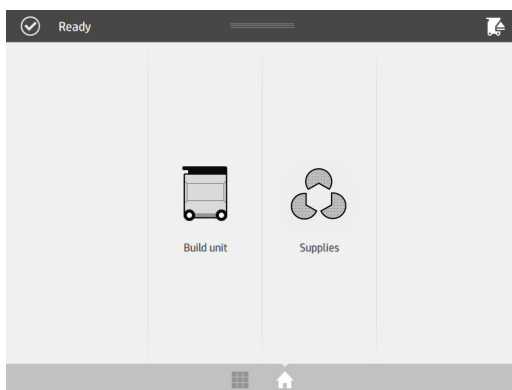
左右の固定アイコン

- ホーム画面に戻るには、 をタップします。
- 現在の画面のヘルプを表示するには、 をタップします。
- 前の画面に戻るには、 をタップします。これにより、現在の画面で行った変更が破棄されることはありません。
- 現在の処理をキャンセルするには、 をタップします。

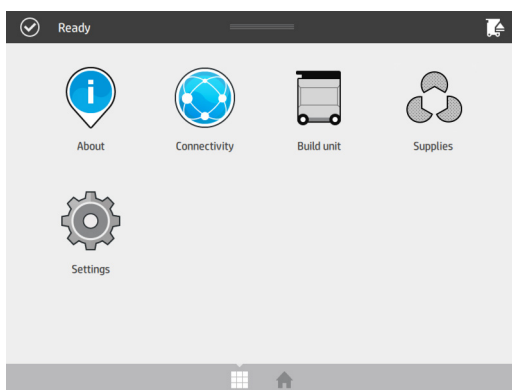
ホーム画面

トップレベルの画面が2つあり、画面上で指をスライドさせるか、画面の下部で適切なボタンをタップすることで、画面を変えることができます。

- 最初のメイン画面からは、最も重要な機能に直接アクセスできます。



- 全アプリケーション画面には、使用可能なすべてのアプリケーションのリストが表示されます。



システムエラー

システムは随時システムエラーを表示します。これは 12 桁の数字コードと推奨される措置で構成されています。多くの場合、装置の再起動が要求されます。プリンタまたはプロセッシングステーションを再起動することで、問題をよりの確に診断することができ、自動的に解決できる場合もあります。再起動後も問題が解決しない場合は、サポート担当者にお問い合わせください。その際には、エラーメッセージの数字コードをお手元にご用意ください。エラーメッセージにその他の推奨事項が含まれている場合は、その手順に従ってください。

電源の仕様

設定 1: ラインとニュートラル間で 220 ~ 240V の単相設定

プロセッシングステーション仕様

電源コードの本数	1 線 + N + PE
入力電圧 (ラインとニュートラル間)	220 ~ 240V ~ (±10%)
入力周波数	50 Hz
消費電力 (通常動作時)	2.6 kW
最大負荷電流 (一相あたり)	14A

分岐ブレーカーの仕様

2 極、20 A、タイプ J

電源ケーブルの仕様

設定	2l 線 + PE
断面領域	4 mm ² または 12 AWG
端末	フェール端子 (M6 リングタイプを使用する PE 端子を除く)
外径の範囲	8.5 ~ 14 mm



注記: 主遮断器および分岐保護は、設置者が用意する必要があります。

設定 2: ライン間で 200 ~ 240V の単相設定

プロセッシングステーション仕様

電源コードの本数	2 線 + PE
入力電圧 (ライン間)	200 ~ 240V (±10%)
入力周波数	50/60Hz
消費電力 (通常動作時)	2.6 kW
最大負荷電流 (一相あたり)	19 A

分岐ブレーカーの仕様

2 極、25 A、タイプ J

電源ケーブルの仕様

設定	2 線 + PE
断面領域	4 mm ² または 12 AWG
端末	フェールール端子 (M6 リングタイプを使用する PE 端子を除く)
外径の範囲	8.5 ~ 14 mm